

平成20年度京都大学防災研究所共同研究「台風研究会」のご案内

「台風災害を防ぐ ―気象学・風工学・土木学・災害学の間に橋を架ける―」

台風は最も激しい気象擾乱であり、顕著な災害をもたらします。台風被害の低減のためには、台風の観測・予報精度の向上だけでなく、それと連動した避難誘導の的確な実施や、構造物の耐風・耐水性の強化等が求められています。この期待に応えるには、理学や工学の枠を越えた学際的な「台風防災学」が必要となります。本研究集会は、諸学問に携わる研究者・技術者が知見を持ち寄り、議論を行うことで、台風防災学構築への一里塚とすることを目的としています。

研究代表者： 別所康太郎（気象庁気象研究所）

防災研担当者： 林 泰一（京都大学防災研究所流域災害研究センター）

竹見 哲也（京都大学防災研究所気象・水象災害研究部門）

主催：京都大学防災研究所

共催：日本風工学会

日時：平成20年12月17日（水）・18日（木）

場所：京大生圏研究所木質ホール（JR奈良線黄檗駅下車、徒歩約10分）

●講演ご希望の方は、平成20年10月10日（金）までに、以下の例に従い、演題、発表者などを下記へご連絡ください。旅費の支給をご希望の方はその旨もお知らせください。

●参加のみご希望の方も同様に、平成20年11月25日（火）までにお申し込みください。

なお、旅費支給は、講演者を優先いたします。

申し込み先：気象研究所・別所康太郎 tymt2008@mri-jma.go.jp

●なお、報告書作成のため、講演者の方には後日4ページ程度の講演要旨の提出をお願いいたします。

=====参加票例（講演希望の場合）=====

講演者： 竹見哲也（*）・別所康太郎（発表者に*をつける）

講演タイトル： 台風の構造について

講演希望時間帯： いつでも可（12月17日午後、12月18日午前、午後の講演の希望を記入）

※講演プログラム作成上、必ずしもご希望に沿えない可能性がありますので、ご了承ください。

懇親会： 参加する（懇親会は12月17日の講演後に予定しています。）

発表者所属機関等

京都大学 防災研究所 気象・水象災害研究部門

郵便番号: 611-0011

住所: 宇治市 五ヶ庄

e-mail: typh00n@tenki.dpr1.kyotodaigaku.ac.jp

以下、旅費希望の方（公務員・国立大学法人教職員の場合）

職名： 准教授

旅行区間： 東京－京都

旅行期間： （平成20年12月17-18日のようにご希望をお書きください。）

以下、旅費希望の方（私立大学・民間等の研究者・大学院生の場合）

職名： 研究員

自宅郵便番号： 154-0013

自宅住所： 東京都世田谷区駒沢公園1-1

旅行区間： 東京－京都

旅行期間： （平成20年12月17-18日のようにご希望をお書きください。）

=====参加票例（参加のみの場合）=====

氏名： 竹見哲也

懇親会： 参加（あるいは、参加しない）

所属機関学部学科名、または部課名：

京都大学 防災研究所 気象・水象災害研究部門

所属機関郵便番号： 611-0011

所属機関住所： 宇治市 五ヶ庄

e-mail: typh00n@tenki.dpr1.kyotodaigaku.ac.jp

=====